

ACCESS

■ 梅田サテライト



- JR東西線「北新地駅」下車、徒歩約3分
- JR「大阪駅」下車、徒歩約10分
- Osaka Metro四つ橋線「西梅田駅」下車、徒歩約5分
- Osaka Metro御堂筋線「梅田駅」下車、徒歩約10分



大阪公立大学大学院都市経営研究科
<https://www.omu.ac.jp/gsum/>
 E-mail : gr-kyik-gsum-apply@omu.ac.jp



都市経営研究科 大阪公立大学大学院



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

都市経営研究科の特色

●現代都市の再生と創造

現代都市は、人口減少・高齢化・産業空洞化の流れの中で数多くの課題に直面する時代に入ります。こうした課題を解決するために、イノベーション(産業や組織の革新)とサステナビリティ(持続可能性)という概念が不可欠です。

●都市経営研究科とは

都市を支える行政・NPO、プランナー、ビジネス、医療・福祉・市民公益活動等の主要なセクターに属する人々が、自らの現場で抱えている都市経営の諸課題を、経済・経営・政策・法律・行政・地域研究などの視点から、都市のイノベーションとサステナビリティをふまえて解決できるように、指導的人材やプロフェッショナル／実務的研究者を養成する大学院です。

都市経営の基礎となる都市・地域の政策／地域経済分析やまちづくり・都市政策、都市経営のための地方自治体の行政改革・ガバナンス・公共政策、都市を活性化する中小ベンチャーの企業経営革新やICT化、医療・福祉の経営革新等の都市経営の諸課題について、「都市政策・地域経済」「都市行政」「都市ビジネス」「医療・福祉イノベーション経営」コース／領域を設けています。

●都市の課題解決を支援する大学院

都市は、人口減少・高齢化・産業空洞化の流れのなかで、課題の多い難しい時代に入り、再生と活性化が求められています。都市経営研究科は、都市のイノベーションとサステナビリティをキーコンセプトとして、現代都市の再生と活性化を目指して、参加型のワークショップなどを含む教育、教員と学生の共同研究、関西の各団体や行政とのプロジェクトなどにより、現代都市の課題解決に取り組む人材の養成をすすめます。

●平日夜2日と土曜通学で修了可能(博士前期課程)

都市経営研究科は、社会人が働きながら通えるように、平日夜2日と土曜通学で修了可能です。
授業時間 *平日 午後6時30分～午後9時20分まで。土曜 午前9時30分～午後5時20分まで。
 1コマ50分授業

*医療・福祉イノベーション経営コースは、午後5時30分より開始する授業があります。1年次前期の土曜昼間を含み、原則として、週2日の通学で履修条件を満たすことができます。

●授業は交通便利な大阪駅前第2ビルで開講* (アクセスは裏表紙参照)

大阪駅前第2ビル6階の梅田サテライトにて授業が行われます。

*医療・福祉イノベーション経営コースは、一部杉本キャンパスで行われることがあります。

●各界第一線の講師陣とディスカッションするワークショップ(博士前期課程)

毎週、当該分野の第一人者を講師として招聘し、いま何が課題か、それについてどう考えているか、3時間の授業の前半で講義を行います。後半では、学生と講師の間で質疑と討論を行います。ワークショップは、各コースで、教員がコーディネータとなり、企画・運営します。現在およびこれからの課題に体系的に取り組むとともに、将来を展望します。

入学定員 **博士前期課程 56名** (夏季募集・冬季募集合計)

- ・都市政策・地域経済コース
- ・都市行政コース
- ・都市ビジネスコース
- ・医療・福祉イノベーション経営コース

博士後期課程 5名

各コース概要

都市政策・地域経済コース

まちづくり、文化政策、観光振興、「公」の仕事に民間の手法をいれるPFI、コンセッションなどPPPの視点を導入する公共経営や公会計において、予算を節約しつつマーケティングや市民協働を活用し都市の個性を生かし効果をあげる都市再生手法などをテーマに、都市経営の基礎となる都市・地域の政策/地域経済分析を研究します。

急速な人口減少・高齢化にともなう財政危機と自治体の経済基盤の空洞化の中で、持続可能な「まちづくり」「都市マーケティング」「PPP/PFI」「自治体会計/公共経営」や、産業や文化を創造する都市機能を活性化させる「新産業政策」や「文化政策」の展開が重要となります。まちづくり、都市地域再生、都市地域振興、都市文化経営、公共経営、ソーシャルマーケティング、自治体会計、公民連携、MICE、都市開発、地域産業振興、商店街、観光、新産業(IT等)、都市計画、都市環境、不動産、アートプロジェクトなどに関心のある人材を広く募り、指導的人材を養成します。

都市行政コース

都市の行政を取り巻く環境は日々変化してきており、都市の再生と活性化のためには、変化に対応した政策が必要です。都市行政コースでは、そうした政策の形成能力の向上につながるよう、行政組織、法政策、社会政策、市民の合意、NPOや公益法人の運営に関する課題等をテーマに研究がなされています。

都市としての潜在的なブランド力が高い「大阪」の名を冠した本学において、本コースでは、行政や議会のあり方、行政とNPOや公益法人との関係、行政と市民との関係等について学んでいただきます。具体的には、「地方行政学」「自治体法務」「都市法政策」「社会政策論」「都市財政論」「行政組織論」等の講義科目やその他の演習系科目を通じて、専門的知見や研究手法の習得と実践的な政策形成能力の向上を目標としています。

なお本コースでは、都市行政の最前線を多面的に支えるべく、自治体職員、国際機関職員、議員、ジャーナリスト、NPO代表等、アクティブリーダーの育成に主眼を置いています。

都市ビジネスコース

都市ビジネスコースでは、都市(地域)の中にいる企業や個人のビジネスを促進・発展させるための理論や知識の習得を目指しています。とくに、関西・大阪という都市の強みを活かした創造的な新しいビジネスを考えます。

特長として、主に3つの企業課題の解決を目指しています。第1は、起業・創業であり、第2は、既存の企業改革・事業変革であり、第3は、ICT&AI関連の応用やビジネス創造です。まさに、21世紀初頭の社会経済にふさわしい学生ごとのテーマを深く探求していきます。そのために、論文指導や外部講師を招いてのワークショップなどの多彩な講義・演習科目を用意し、中小企業の経営者や幹部の養成、大企業や各種団体の高度人材の養成、さらには、組織内での改革やDXを進めていける高度なデジタル人材の養成等を目指しています。

医療・福祉イノベーション経営コース

類例のない少子高齢社会を迎えたわが国の医療・社会福祉事業者は、業務・活動の質・安全・効率性の向上、実践知に富む高度専門人材の育成・確保、患者・利用者価値の向上、地域医療・福祉の拡充など多数の複雑な経営課題への取り組みを求められています。本コースではこれら諸課題の達成に資するイノベーション(業務・組織・経営革新)を実現する医療・福祉組織の経営を、各受講生が勤務先組織で実践しつつ研究(アクション・リサーチ)します。受講生が勤務する医療・社会福祉現場の諸問題を研究して修士論文を作成することもできます。

医療分野では法人理事・管理職、医師、保健・助産・看護師、薬剤師、技師・技士、療法士、管理栄養士、その他のコメディカル、社会福祉分野では社会福祉・NPO等法人理事・施設長・管理職、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士、ケアマネージャーなどで、医療・福祉現場からイノベーションを実現する強い意欲をもつ現任の経営管理・専門職を広く募ります。

科目

基礎科目(共通)	都市経営論	経営学概論	経営倫理
	行政法制度概論	マーケティング論	都市地域社会調査分析
	まちづくり概論	ファイナンス論	研究方法論
	ミクロ経済論	研究公正A(都市経営)【必修】	

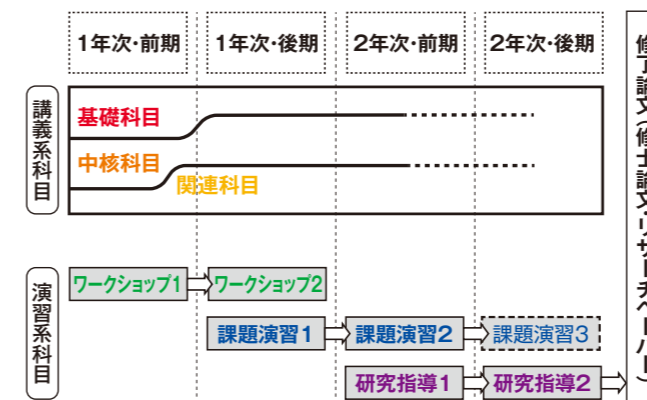
コース	都市政策・地域経済	都市行政	都市ビジネス	医療・福祉イノベーション経営
中核科目	公共経営論	地方行政学	地域事業戦略論	医療イノベーション経営
	都市再生・まちづくりマーケティング論	自治体法務	イノベーションマネジメント論	福祉イノベーション経営
	都市文化政策	都市法政策	ICTビジネス論	知識創造組織
	PPP/PFI論	行政組織論	地域アントレプレナーシップ論	共生社会と医療倫理
	自治体会計	都市財政論	企業変革論	地域福祉社会論
	AI・エネルギー新産業論	公共経営論	経営情報論	医療ワークショップ
	ワークショップ	ワークショップ	情報経済論	福祉ワークショップ
	課題演習	課題演習	ワークショップ	課題演習
			課題演習	経営倫理演習
			データマイニング	
関連科目	都市計画	現代都市政治	ビジネスモデル論	演習(リーダーシップ)
	アートプロジェクト論	地域交通論	e-マーケティング	演習(リスクマネジメント)
	都市産業・中小企業政策	比較都市政策論	中小企業経営分析	ダイバーシティスタディーズ
	不動産経済論	公営企業論	M&A論	職域健康増進
	公共経済学	社会政策論	AI・エネルギー新産業論	
	都市計量分析	行政評価論		
	文化施設経営論			

研究指導(共通)	研究指導【必修】
----------	----------

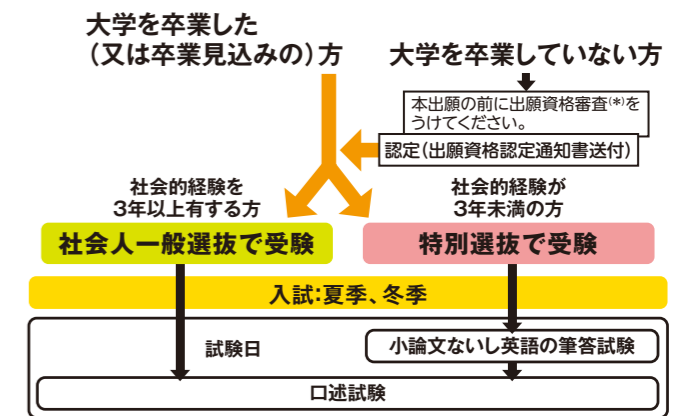
修了要件

1. 都市経営研究科博士前期課程に2年以上在学し、31単位以上を習得すること
「研究公正A(都市経営)」を含む「基礎科目」4単位
自コースの「中核科目の講義系科目・演習系科目」各6単位
自コースの「関連科目」3単位
「基礎・中核・関連科目」から8単位
「研究指導科目」4単位
 2. 修了論文の審査に合格すること
- 学位名称：修士(都市経営)

履修モデル



出願について



(*)出願資格審査：博士前期課程では、学士号を有しなくても一定の条件を満たし、事前に本研究科が認めた場合、出願できます。

入試スケジュール



6月～7月頃(※1)、10月～12月頃(※2)に入試説明会やシンポジウムを開催する予定です。詳しくは、都市経営研究科Webサイト(<https://www.omu.ac.jp/gsum/>)をご覧ください。

事前相談

志願者は、出願前に希望する研究指導教員に必ず相談してください。
 都市経営研究科教員の研究内容等を確認後、学生募集要項で指定する期日までに、必ず相談してください。
 研究指導教員の連絡先は、都市経営研究科事務室(杉本キャンパス)へメールでお問い合わせください。
 【問合せ先】E-mail:gr-kyik-gsum-apply@omu.ac.jp

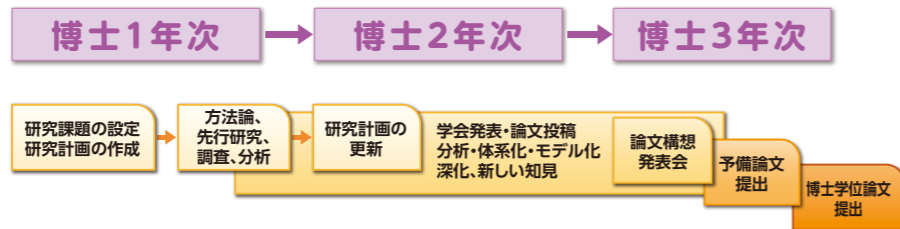
修了要件

- 都市経営研究科博士後期課程に3年以上在学し、19単位以上を習得すること
 「研究公正B(都市経営)」1単位+自領域「特殊講義」含む講義科目2単位
 自領域演習科目4単位
 自領域研究指導科目12単位
- 修了論文の審査に合格すること
 学位名称：博士(都市経営)

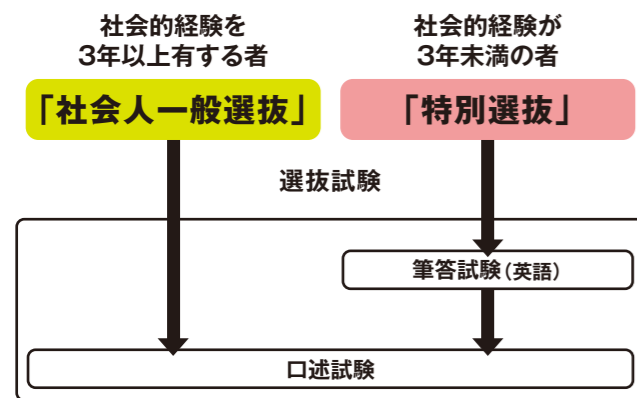
科目

履修モデル

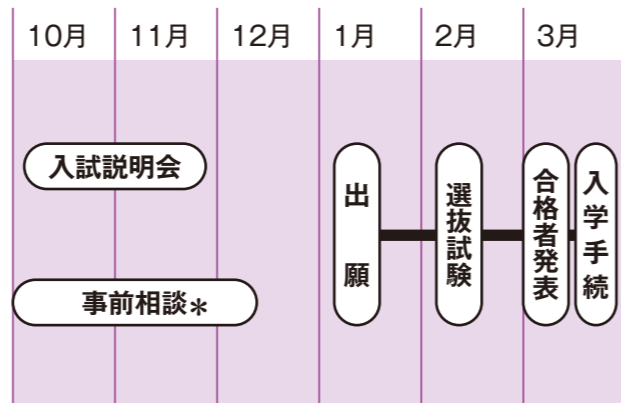
- 【講義科目】
 研究公正B(都市経営)
 特殊講義
- 【演習科目】
 演習
 博士研究指導



出願について



入試スケジュール



*事前相談は募集要項公表後に開始します。

コース領域	氏名	研究テーマ
都市政策・地域経済	教授 遠藤 尚秀 ENDO Naohide	公会計の観点から、自治体経営を含む公共経営とパブリック・ガバナンスの研究
	特任教授 佐藤 道彦 SATO Michihiko	まちづくりに関するイノベーションの研究
	教授 佐野 修久 SANNO Nobuhisa	公民連携等を通じた公共経営・地域経営に関する研究
	特任教授 永田 潤子 NAGATA Junko	パブリックセクターの組織および人に関するマネジメントの研究
	准教授 吉田 隆之 YOSHIDA Takayuki	文化政策、アートプロジェクトに関する研究
	准教授 池田 千恵子◆ IKEDA Chieko	都市再生・まちづくり・観光等に関する地域研究
都市行政	教授 高野 恵亮 TAKANO Keisuke	立法過程、行政の意志決定過程、行政手続に関する研究
	教授 久末 弥生 HISASUE Yayoi	都市計画、文化財保護、国土安全保障に関する法制度の研究
	准教授 五石 敬路 GOISHI Norimichi	東アジアの社会政策に関する国際比較研究
	准教授 水上 啓吾 MIZUKAMI Keigo	都市財政及び都市経営に関する研究、政府債務に関する国際比較研究
都市ビジネス	特任教授 梅原 清宏 UMEHARA Kiyohiro	中小企業経営、ICTビジネスに関する研究
	教授 小関 珠音 OZEKI Tamane	アントレプレナーシップ、イノベーションとクリエイティビティ及び企業の社会性に関する研究
	特任教授 金井 一頼* KANAI Kazuyori	アントレプレナーシップと産業クラスター及びソーシャル・ベンチャーに関する研究
	教授 金野 和弘 KONNO Kazuhiro	データや人工知能を活用した中小企業支援に関する研究
	教授 近 勝彦 CHIKA Katsuhiko	情報経済論、情報社会論、情報投資の評価技法に関する研究
	特任教授 村上 憲郎* MURAKAMI Norio	AI及びエネルギー新産業の研究
医療・福祉イノベーション経営	教授 阿久澤 麻理子 AKUZAWA Mariko	人権教育・啓発・研修、国際人権基準・人権概念の市民意識への浸透、社会調査法
	特任教授 岩崎 安伸* IWASAKI Yasunobu	医療・福祉の国際比較、医療・福祉組織のリーダーシップおよび経営幹部コーチング
	教授 新ヶ江 章友 SHINGAE Akitomo	セクシュアルマイノリティの性の様式に関する研究、科学技術と身体に関する研究
	教授 服部 俊子 HATTORI Toshiko	ヘルスケア組織と倫理の哲学
	准教授 川村 尚也 KAWAMURA Takaya	多文化社会における知識創造経営・組織

◆印の教員は、2024年10月着任予定です。
 *印の教員は、2025年3月退職予定です。